レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日			
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	フェスゴMA【維持】+weeklyパクリタキセル【2コース目以降】**初発**				
疾患名	乳がん	適応の備考	HER2陽性乳がんの術前術後補助化学療法 ※パクリタキセル併用4コース（12週間投与）終了後、フェスゴ単剤を用いる。 パクリタキセル併用時からの術前術後合わせて、フェスゴは12ヶ月（最大18コース）使用する。		
適応分類	術後補助化学療法、術前化学療法				
1コース日数	21　日間	総コース数	※初回・維持　合計 4　コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日	フェスゴMA　day1、パクリタキセル80mg/㎡　day1.8.15				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 (投 与 日 は ●)　(day)

投与順	ルート・方法	薬 剤 名	投 与 量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし			/																						
	皮下注射	フェスゴ配合皮下注【MA】	10	mL / body		●																				
				/																						
	調製後4時間以内に使用 5分以上かけて皮下投与																									
2	主ルート	生食50mL	1	本 / body		●							●							●						
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1	本 / body	30 分	●							●							●						
		ファモチジン注20mg	1	本 / body		●							●							●						
3	主ルート	生食250mL	1	本 / body		●							●							●						
	点滴静注	パクリタキセル注	80	mg / ㎡	60 分	●							●							●						
				/																						
4	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●							●							●						
	点滴静注			/																						
				/																						
		レスタミンコーワ錠	5	錠 / body		●							●							●						
	経口投与			/																						
				/																						
	パクリタキセル投与の30分前																									

【投与上の注意】
・day1.8.15のデキサート注は、3.3mgでもよい。

このレジメンは、フェスゴ（ペルツズマブ、トラスツズマブ）2回目以降の投与患者に使用する。
パクリタキセル：前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。
パクリタキセル：DEHPフリー（フィルターつき）点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。
パクリタキセル：アルコール不耐症がないことを確認する。

フェスゴ皮下注：何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。
①前回投与日から6週間未満のとき ： 維持投与量（フェスゴ MA）を投与する。
②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量（フェスゴ IN）を投与し、次回以降は維持投与量（フェスゴ MA）を3週間間隔で投与する。
フェスゴ皮下注：初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。
フェスゴ皮下注：大腿部以外への投与は避ける。
フェスゴ皮下注：注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。
フェスゴ皮下注：皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位（傷、発疹、発赤、硬結等）には注射しないこと。
フェスゴ皮下注：初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・パージェタ＋トラスツズマブ（IV）からフェスゴに切り替える場合
パージェタ＋トラスツズマブ（IV）の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA（維持投与量）を、6週間以上のときにはフェスゴIN（初回投与量）を投与し、
その後は3週間毎にMA（維持投与量）を投与する。

・フェスゴからパージェタ＋トラスツズマブ（IV）に切り替える場合
フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、トラスツズマブともに維持投与量（パージェタ：420mg、トラスツズマブ：6mg/kg）を、
6週間以上のときにはパージェタ、トラスツズマブともに初回投与量（パージェタ：840mg、トラスツズマブ：8mg/kg）を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。